



第55期 年次報告書

2024年4月1日から2025年3月31日まで



株主の皆様の声をお聞かせください



当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 [✉ koekiku@pronexus.co.jp](mailto:koekiku@pronexus.co.jp)

さらなるレベルアップの実現へ向け

シノブフーズは、『おいしさと楽しさ』をモットーに、設立以来50年以上、「食」にかかわる企業の使命として、お客様のニーズや社会のスタイルに合わせた商品を提供してまいりました。

第55期は中期経営計画【「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画】の最終年度であり、商品づくりを通じ、健康で豊かな食文化の向上に貢献し、顧客、取引先、社会に信頼され、そして従業員、株主、企業それぞれが充足することをめざし、取り組んだ結果、売上高、経常利益率ともに目標数値を達成いたしました。

今後も「安全・安心な商品」をお届けすることはもちろん、コンプライアンス、CSR(企業の社会的責任・社会からの信頼)にもとづいた企業活動を実践するほか、環境負荷軽減や持続可能な社会づくりに貢献し、さらなる成長のための行動力を磨き、変化に対して積極的に挑戦してまいります。

代表取締役社長 **松本崇志**



連結ハイライト

当社グループは中食業界に属し、主要な取引先であるコンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア等へ弁当、おにぎり、調理パン、寿司及び惣菜等を製造卸販売しており、当社グループを取り巻く環境は、原材料価格の上昇や労働コストの増加、消費者の節約志向の高まりなど引き続き厳しい状況が続いております。

こうした状況下、当社グループは、「良品づくり」のさらなるレベルアップをめざす5カ年計画をテーマとした中期経営計画(2021年3月期~2025年3月期)を策定し、4つの基本戦略、「販売戦略」、「コスト戦略」、「人材戦略」、「環境戦略」に基づき、目標達成に向けて取り組んでまいりました。

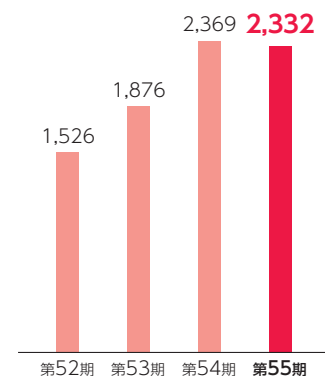
販売面では、2025年2月に開催された「スーパーマーケット・トレードショー2025」に出展し、精米価格が高騰している中で、当社

の幅広い製品ラインナップを提案し顧客のニーズに沿った営業活動を展開するとともに、本場韓国のキンパを新たに紹介しご好評をいただきました。また海外展開のスタートとして、当社の冷凍弁当が香港で販売開始しました。今後も冷凍事業拡大に向け、冷凍設備への積極的な投資を行い、冷凍惣菜・冷凍弁当の製造拡大に取り組んでまいります。

開発面では、「手作り感」や「出来立て感」をコンセプトに内製化をさらに進め、原材料の産地や製法など一品一品にこだわりを持たせた商品の開発に注力いたしました。また冷凍事業の成長を加速させるため、組織改編を行い、冷凍機器メーカー様との共同開発にも取り組んでおります。

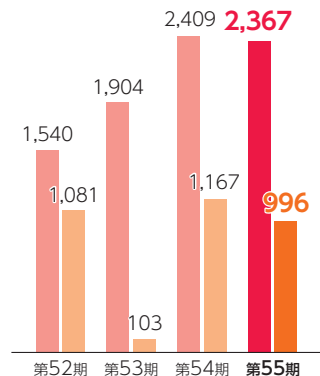
営業利益

(百万円)



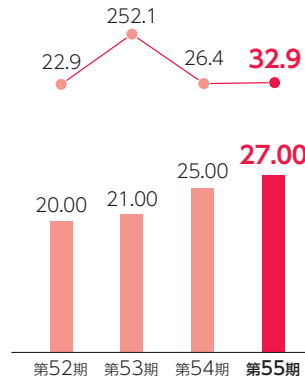
経常利益 / 親会社株主に帰属する当期純利益

■ 経常利益(百万円)
■ 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)



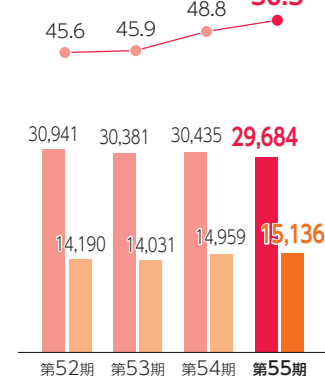
1株当たり配当金 / 連結配当性向

■ 1株当たり配当金(円)
● 連結配当性向(%)



総資産 / 純資産 / 自己資本比率

■ 総資産(百万円) ■ 純資産(百万円)
● 自己資本比率(%)



経営状況や財務状況、業績に関する詳細は、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.shinobufoods.co.jp/ir/>



NB事業

1 シノブフーズの製品が 海外市場に初進出いたしました!

日本アクセス社様のプライベートブランド商品であり、当社が製造している「お惣菜やさんが作る」をコンセプトにした「Delcy」シリーズの冷凍おにぎりが、2025年2月より香港のスーパーマーケットで販売されております。今後も日本の製品をより多くの国と地域へお届けできるよう、様々な取り組みを進めてまいります。



2 スーパーマーケット・トレード ショー2025に出展いたしました!

2025年2月12日～14日の3日間、幕張メッセにて開催された「スーパーマーケット・トレードショー2025」へ出展いたしました。3年連続の出展となった今回は、売り場を意識したレイアウトでのご提案を行い、新規・既存取引先様をはじめ、多くのお客様へ当社の取り組みや商品を知っていただける良い機会となりました。



CVS事業

1 袋野菜の製造を スタートいたしました!

2024年8月より、京滋工場と広島工場にて、袋野菜の製造をスタートいたしました。当社としては新しい取り組みとなり、各工場それぞれ6アイテムの製造を行っております。



2 四国地区にて生協様との取引が スタートいたしました!

関西地区の生協様との取引が評価され、四国地区においても、2024年6月よりこうち生協様と、8月よりコープかがわ様との取引がスタートいたしました。今後もさらなる地域拡大を目指し、取り組んでまいります。



設備・工場

1 冷凍設備を増強いたしました!

2020年に大阪工場、2023年に名古屋工場で冷凍商品の製造が開始され、着々と事業を拡大してまいりました。そしてこの度、3拠点目として関西工場への冷凍ラインを新設いたしました。今後も様々な需要に対応するため、おせち、弁当、惣菜、おにぎりなど、様々なカテゴリの盛付に対応した製造現場の拡充を行ってまいります。



2 自社製造の「だし巻玉子」使用商品が大ヒット!

関西工場では、培ってきた内製化の技術を活かし、「だし巻玉子」を使用した商品の製造をスタートいたしました。独自設備の玉子焼き機を使用することで、他社には真似できない「ダシ感」「食感」を実現しております。



サステナビリティ

1 正社員の給与水準の引き上げを実施いたしました!

持続的な企業価値向上を担う人財の確保と育成を目的に、正社員の給与水準の引き上げを実施いたしました。今後も人的投資の拡大に積極的に取り組み、持続的な企業価値の向上に努め、多様な働き方への制度対応や従業員とご家族が安心して働ける職場環境の整備を進めてまいります。

2 環境配慮型容器の使用取り組み拡大中!

環境問題への取り組みのひとつとして、環境配慮型容器への取り組みに継続して注力しています。お弁当では発泡素材の容器や軽量化容器など、サンドイッチでは紙使用包材などを使用することで、年間269トンのCO₂排出量を削減しております。今後も各カテゴリにて、環境配慮型容器への取り組みを拡大してまいります。



サステナビリティへの取り組みは、
当社ホームページをご覧ください。

<https://www.shinobufoods.co.jp/sustainable/>



外部環境

- ▶ 人口の減少による国内市場の変化
- ▶ 単身・共働き世帯の増加に伴う生活スタイルの変化
- ▶ 業界の垣根を越えた競争の激化
- ▶ 品質クオリティに対する期待の高まり
- ▶ 原材料・エネルギー価格の高騰
- ▶ 労働人口減少による人員不足
- ▶ 働き方に対する考え方の変容
- ▶ 環境問題への意識の高まり

内部環境

経営理念

『おいしさと楽しさ』をモットーに、消費者ニーズに応える商品づくりを通じ、健康で豊かな食文化の向上に貢献し、顧客、取引先、社会に信頼され、そして従業員、株主、企業それぞれが充足されることを期する。

目指すべき姿

- ◎ 消費者ニーズに応えるため、3温度帯(定温、チルド、冷凍)の生産体制を確立し、日本全国に高品質なシノブクオリティの商品をお届けします。
- ◎ 日本の『おいしさ』を世界にお届けするため、国々の特色に合わせた食の安全性と高品質を確保するとともに、さまざまな文化に対応した商品を提供いたします。
- ◎ 社会、取引先、そして従業員のそれぞれが満足し、共に発展できる持続可能な関係を築きます。

中期経営計画

「良品づくり」を基礎とした新たな価値・市場への挑戦

培った「良品づくり」を基礎とし、3温度帯(定温、チルド、冷凍)へ対応した効率的な生産体制を整えるとともに、独自の製法や内製化により新たな価値を創出し、シェアの拡大を図ります。
また冷凍事業では、日本の美味しさを世界にお届けするために海外での販売を目指します。

当社グループでは、経営理念に則した「良品づくり」を基礎とした新たな価値・市場への挑戦に向けて、
4つの基本戦略をもとに取り組みでまいります。

販売戦略 1

良品を基礎とし、「製造力」「開発力」「営業力」に磨きをかけ、3温度帯(定温、チルド、冷凍)の生産体制を整えるとともに海外も視野に入れた新規事業、新規市場へ挑戦してまいります。

コスト戦略 2

良品を継続的に届けるために、原材料面、労務管理面、販売管理面を中心に現場レベルでの緻密な管理を行い、中長期的な視点でのコスト削減に取り組んでまいります。

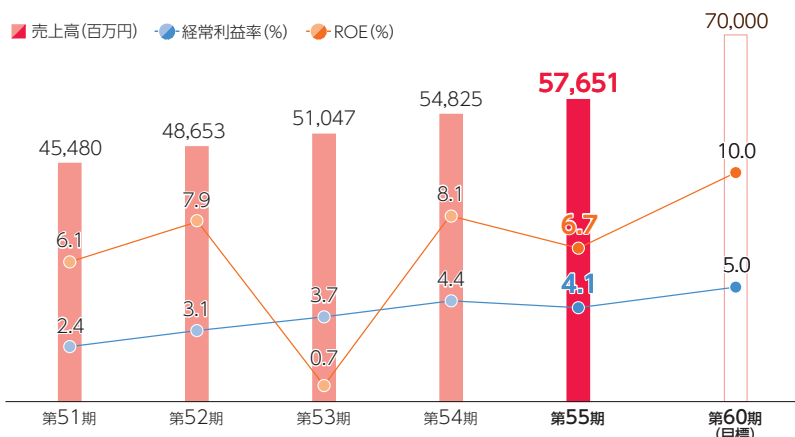
サステナビリティ戦略 3

製品を通じた環境負荷の軽減やフードロスの削減、障がい者雇用を推進し、誰もが安心して働ける職場環境の整備、次世代を担う人材の育成にも力を注ぎ、持続的な成長を目指してまいります。

財務戦略 4

成長事業への戦略的な投資を行い、資本コストや株価を意識した経営を目指し、収益力の強化によるROEの向上を図りつつ、株主還元も積極的に取り組んでまいります。

第60期(2030年3月期)数値目標

売上高 **700**億円経常利益 **35**億円経常利益率 **5.0**%R O E **10.0**%

会社概要

(2025年3月31日現在)

社名 シノブフーズ株式会社
SHINOBU FOODS PRODUCTS CO.,LTD.
設立 1971年5月1日
資本金 4,693,422,000円
従業員数 555名
事業内容 米飯加工食品(弁当、おにぎり、寿司等)・調理パン(サンドイッチ等)・惣菜等の製造販売

役員

(2025年3月31日現在)

代表取締役社長	松本 崇志	執行役員	花谷 由紀
代表取締役副社長	西村 寿清	執行役員	杉山 直博
取締役	清水 秀輝	執行役員	川部 昌文
取締役	長尾 正史	執行役員	足立 裕明
取締役	吉井 淳	執行役員	田向 智和
取締役(社外)	加藤 道彦	執行役員	藤井 誠
取締役(社外)	中野 由里	執行役員	萬田 幸一
常勤監査役	大塚 一樹		
監査役(社外)	野村 祥子		
監査役(社外)	南方 得男		

メディア掲載実績

- 2024年 5月 日経マネー
- 2024年 7月 日本食糧新聞
- 2024年11月 日本食糧新聞
- 2024年12月 朝日放送テレビ「これ余談なんですけど…」
- 2025年 2月 日経ヴェリタス
- 2025年 3月 日経MJ

株主優待

- 1,000株以上、継続保有期間3年以上の株主様
有明産海苔(味付海苔2缶と焼海苔1缶)の詰め合わせ
- 1,000株以上、継続保有期間3年未満の株主様
有明産海苔(味付海苔1缶と焼海苔1缶)の詰め合わせ
- 500株以上999株以下の株主様
有明産海苔(味付海苔1缶)



株主メモ

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所(郵送物送付先) 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 0120-782-031(フリーダイヤル)(受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く))
インターネットホームページURL <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>
(よくあるご質問(FAQ)) https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

株式の状況

(2025年3月31日現在)

発行可能株式総数 45,656,000株
発行済株式総数 13,000,000株
単元株式数 100株
株主数 6,869名

ネットワーク

(2025年3月31日現在)

本社 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号
TEL(06)6477-0113(代表)

工場 ●千 葉 千葉県八千代市上高野1734番1
●名 古 屋 愛知県弥富市四郎兵衛1丁目128番地
●大 阪 大阪市西淀川区福町1丁目9番16号
●関 西 大阪市西淀川区御幣島6丁目14番36号
●京 滋 滋賀県栗東市六地藏1163
●岡 山 岡山県総社市中原字巽原88番の2
●広 島 広島県尾道市美ノ郷町本郷20001番地65
●四 国 香川県観音寺市柞田町字干拓丁93番7号
●物 流 セ ン タ ー 大阪市西淀川区福町1丁目9番17号
●東 京 事 業 所 東京都大田区蒲田5丁目42番6号 蒲田ハイツ201号

子会社 ●(株)エス・エフ・ディー 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号
●マイツペーカー(株) 大阪市西淀川区竹島2丁目3番18号



株式に関する住所変更等の
お手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、左記「電話照会先」までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、左記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

